

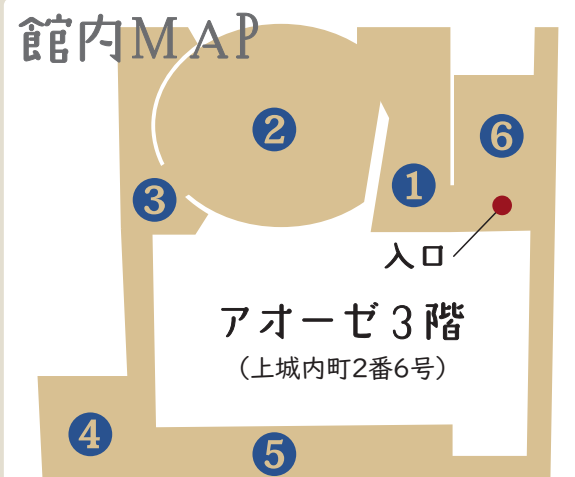
子どもだけじゃない！オトナにこそ、おすすめ 日田市立博物館へようこそ



皆さんは、日田市立博物館を訪れたことがありますか？
日田に博物館が誕生したのは昭和28(1953)年、もともとは市民有志のスタートでした。

その後、公立博物館を求める声が高まり、「市制20周年・淡窓没後100周年記念事業」の一環として、昭和35(1960)年、三本松に日田市立博物館を開館。50年のときを経たのち、平成28(2016)年にアオーゼ3階へと場所を移し、現博物館は来年8月で開館10周年を迎えます。

様々な分野の有識者や市民団体の力を借りて、日田の“自然史”をふんだんに詰め込んだ日田市立博物館は、子どもはもちろん大人も楽しんで学べる工夫が随所に。今特集を機に足を運び、日田を“再発見”してみませんか。



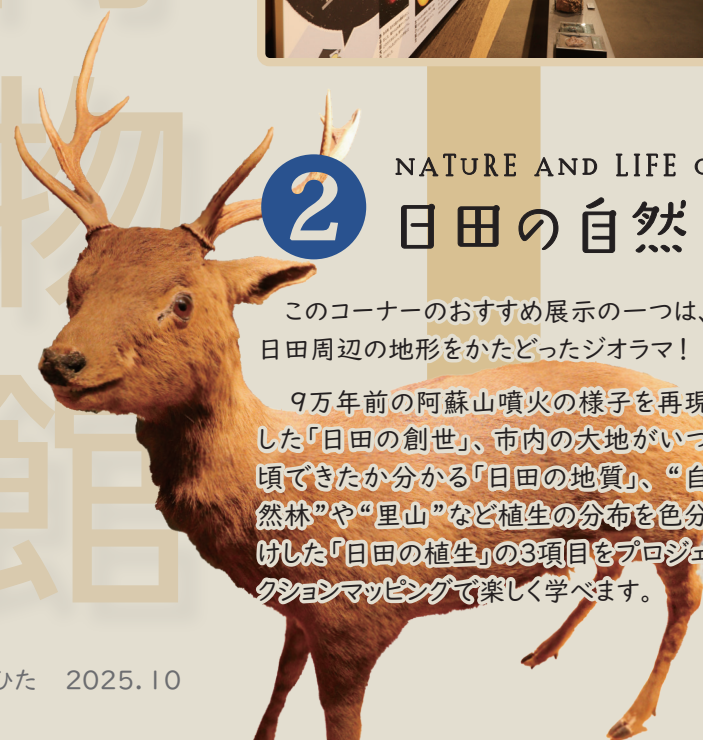
営業 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始
料 無料 P 有(無料) 問 博物館 ☎ 5394

1 ORIGINS OF HITA 日田のなりたち



隕石や化石に触れながら地球の歴史を学べる「地球と生物の誕生コーナー」と、9万年前の阿蘇火砕流によって埋まった小野川埋没樹木を中心に、市内各所で採集された岩石や化石を展示する「日田の大地の記憶コーナー」があります。

2 NATURE AND LIFE OF HITA 日田の自然と暮らし



このコーナーのおすすめ展示の一つは、日田周辺の地形をかたどったジオラマ！

9万年前の阿蘇山噴火の様子を再現した「日田の創世」、市内の大地がいつ頃できたか分かる「日田の地質」、自然林や里山など植生の分布を色分けした「日田の植生」の3項目をプロジェクトシマッピングで楽しく学べます。



日田の地形ジオラマ

3 STARRY SKY OF HITA 日田の星空



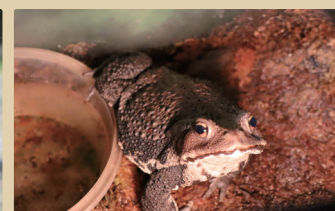
主に市内で撮影された天の川や銀河、星雲、月、太陽などの天体写真や動画が壁面を飾る“星空ギャラリー”です。

ボタンを押すと「月の満ち欠け」が学べるコーナーや、星空を観察できるシミュレーターを設置。いつでも天体観測が楽しめます。

4 LIFE OF WATERFRONT IN HITA 水辺の生き物



水郷日田には、30種を超える淡水魚が生息しています。水槽コーナーでは、タナゴの仲間やオヤニラミなどの希少種を含む淡水魚を中心に、イモリやニホンヒキガエルなどの両生類、ニホンイシガメやクサガメといったカメの仲間も展示。オヤニラミの産卵映像と、博物館で生まれたその稚魚も見ることができます。



2 日田の自然コーナー



引き出しの中には昆虫標本も！

2 川と人との関わり大絵巻



2 川とともに生きるコーナー

水中から鵜飼舟を見上げるような展示



壁面には、日田の自然や文化を表す象徴的なシーンを投影



日田の自然と人々の暮らしの関わりや移り変わりを現した「大絵巻」。自然が作り出す地形や川、そこに生息する動植物は、人々の暮らしに大きな影響を与え、日田の文化の発展につながりました。

時代の特徴的な出来事は、「おきあげ人形研究会」による「おきあげ雛」で表現しています。